

研修事業実績

● 社会基盤整備

開発途上国では都市開発、道路、上下水道等の社会基盤の整備が遅れているために、国の経済発展だけではなく、これらの施設、そして社会基盤のシステムが持続的に機能するために必要な人づくり、制度づくりも支援しています。JICA北海道(帯広)では、国土交通省北海道開発局 帯広開発建設部や、地域の地熱掘削専門学校などのノウハウを活用して、途上国の多くのニーズに対応した研修を行っています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	研修期間
1	灌漑施設の維持・運営管理	課題別	12	エジプト、ガーナ、ケニア、モロッコ、モザンビーク(2)、タンザニア、ウガンダ、ジンバブエ(2)、フィリピン(2)	とかち機構	24.6.16-24.7.26
2	地熱掘削運営管理	課題別	6	ジブチ(2)、タンザニア(4)	とかち機構	24.11.26-24.12.14

● 環境

開発途上国では、人々が貧困のために自然環境を破壊し、そのことがますます貧困を深刻化していくという環境劣化と貧困の悪循環が起きています。また、人間の活動全般から発生する環境への負荷(悪影響)を減らし、持続可能な消費と生産が可能となる社会の仕組みづくりを行うことが重要な課題となっています。JICAは開発途上国の自然環境保全に取り組むとともに、水質汚染対策、廃棄物処理等の分野で支援を行っています。JICA北海道(帯広)では、道内の森林管理のノウハウや地方自治体の都市環境対策の経験を活かした研修を積極的に行っています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	研修期間
1	中央アジア国別 地域振興に寄与するエコツーリズム等の持続可能な湿地資源の利用	国別	8	ウズベキスタン(3)、カザフスタン(3)、タジキスタン(2)	自然環境研究センター	24.8.18-24.9.5
2	地域住民の参加による持続的な森林管理	課題別	9	フィリピン(2)、ネパール(2)、ペルー、ウガンダ(2)、コンゴ民主共和国(2)	アジア航測株式会社	24.9.11-24.11.20
3	湿地生態系における自然を活用した社会課題の解決(ネイチャーポジティブな社会の実現に向けて)	課題別	5	コスタリカ、グアテマラ、メキシコ、ニカラグア、パナマ	釧路国際ウェットランドセンター	24.9.30-24.11.13
4	持続的森林管理及び生物多様性保全(担当クラス)(インド)	国別	12	インド	アジア航測株式会社	24.7.25-24.8.17
5	自然環境行政官向けのエコツーリズム	課題別	8	東ティモール、ベトナム、インド、フィジー、ガボン、コンゴ共和国、コンゴ民主共和国、アルバニア	KIWC	24.5.19-24.6.21

● 保健医療

基本的な保健医療サービスが提供されれば簡単に予防・治療できる程度の病気やお産などで、今も開発途上国を中心に多くの尊い命が失われています。JICAは「感染症対策」「母子保健」「保健システム」などの分野において、開発途上国の保健・医療の充実に取り組んでいます。JICA北海道では、道内の僻地における公衆衛生の改善の経験等を活かして、母子保健や保健行政人材の育成等を行っています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	研修期間
1	母子栄養改善	課題別	12	アンゴラ、コンゴ共和国、エクアドル、ガーナ、インドネシア、マーシャル、ナイジェリア、パキスタン、フィリピン、ルワンダ、シエラレオネ、東ティモール	公益財団法人ジョイセフ	(来日)24.9.21-24.10.19 (遠隔)24.12.14-24.12.17

● 地域振興・地域開発行政

急激に都市化が進む都市部と、開発から遅れた地方部の経済格差が開発途上国では拡大しています。こうした格差を是正するとともに、それぞれ固有の問題を解決するためにJICA北海道では、北海道で培われた地域総合開発の経験や地域リソースを活用した地域振興を目的として、開発途上国の行政官等を対象に、課題解決に向けた人材育成を支援しています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	研修期間
1	パキスタン国別 ハイバル・パフトゥンハー州新併合地域の地方行政官能力強化	国別	11	パキスタン	オリエンタルコンサルタンツグローバル	24.11.11-24.11.19

● 農林水産業等

農林水産業は、自国で必要とされる食糧を安定的かつ安全に供給する役割・期待を担っています。とりわけ、開発途上国においては主要産業として重要です。JICA北海道では、北海道における農村のリソースを活用した地域振興や持続可能な開発につながる資源の有効利用に関する北海道の経験・知見を活かして、人材育成を支援しています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	研修期間
1	ブラジル国別 アグリフードチェーンにおけるイノベーション・エコシステム及び持続可能性強化のための精密・デジタル農業(第1回技術研修)	国別	6	ブラジル	内包化	24.8.26-24.9.7
2	アジア地域 市場志向型農業振興(行政官)A	課題別	20	フィリピン(3)、バングラデシュ(3)、パキスタン(4)、パプアニューギニア(2)、ブータン(2)、インド、モルディブ(2)、スリランカ(3)	十勝インターナショナル協会	24.8.26-24.9.13
3	アジア地域 市場志向型農業振興(行政官)B	課題別	20	カンボジア(4)、ラオス(2)、ベトナム(3)、モンゴル(3)、ネパール(2)、タジキスタン(4)、ミャンマー(2)	十勝インターナショナル協会	24.7.22-24.8.9
4	ナミビア国別 北部ナミビア小規模農家生計向上プロジェクト	国別	10	ナミビア	とかち機構	24.10.14-24.11.2
5	CIS諸国、モンゴル向け持続的アグリビジネス経営管理	課題別	6	カザフスタン(2)、キルギス(2)、タジキスタン、ウズベキスタン	インサイトマネジメント株式会社	25.1.14-25.1.31
6	アジア地域 フードバリューチェーン構築による地域アグリビジネス振興	課題別	8	カンボジア、ラオス、東ティモール、ベトナム、バングラデシュ、ネパール、ベトナム、フィリピン	十勝インターナショナル協会	24.10.9-24.11.8
7	小規模農家の生計向上のための持続的な畜産バリューチェーンの構築	課題別	8	パキスタン、エリトリア、ナミビア、モーリタニア、キルギス、モンゴル、マダガスカル、マリ	帯広畜産大学	24.5.28-24.6.5(遠隔) 24.6.27-24.7.31(来日)
8	アラブ圏市場志向型農業振興(行政官)	課題別	11	エジプト(9)、スーダン(2)	十勝インターナショナル協会	25.1.8-25.1.25(来日) 25.1.26-25.2.4(エジプト)
9	畜産現場における感染症対策と獣医療サービスの強化	課題別	6	サモア、パレスチナ、スーダン、モンゴル、パラグアイ	十勝インターナショナル協会	25.9.2-25.9.30(遠隔) 25.10.10-25.11.7(来日)
10	持続可能な食料システム戦略による地場産業振興	課題別	8	バハマ、エリトリア、マレーシア、北マケドニア共和国、トルコ、ベトナム、キューバ(2)	インサイトマネジメント株式会社	24.9.9-24.10.12
11	人獣共通感染症コントロールのための検査技術と研究能力強化	課題別	8	アルゼンチン(2)、マリ、フィリピン、ウガンダ、モンゴル(2)、パレスチナ	帯広畜産大学	24.11.4-24.12.2(遠隔) 25.2.2-25.4.26(来日)
12	畜産物(乳・肉・卵)の安全・衛生・品質管理技術強化	課題別	9	バングラデシュ、インド、スリランカ、アルゼンチン(2)、ウルグアイ、エリトリア、ナイジェリア、モザンビーク	一般社団法人とかち地域活性化支援機構	25.2.17-25.4.24
13	マレーシア国別 動物を原料とした食品衛生強化を通じた地域産業開発	国別	8	マレーシア	一般社団法人とかち地域活性化支援機構	24.10.15-24.11.1
14	SATREPS ボリビア 高栄養価作物キヌアのレジリエンス強化生産技術の開発と普及	国別	2	ボリビア	帯広畜産大学	24.10.21-24.11.16

● 教育

JICAは、世界中のすべての人々が教育を受けられるという目標に向かって、開発途上国における基礎教育の普及に取り組んでいます。JICA北海道でも、北海道の教育関係者との意見交換や実際の学校現場への訪問等、北海道の教育行政や学校教育の知恵と経験を活かした研修を実施しています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	研修期間
1	小学校理科教育の質的向上～「教えと学び」の現場教育～	課題別	11	バングラデシュ(2)、カンボジア、エスワティニ、モンゴル、ナイジェリア、パレスチナ、パプアニューギニア、南アフリカ共和国、イエメン、ザンビア	十勝インターナショナル協会	24.10.23-24.12.10

● 青年研修

開発途上国の青年が、それぞれの国で必要とされている分野の基礎的な研修を通じ、将来の国づくりを担う人材となってくれることを目的とする事業で、地方自治体、地域のNGO、その他国際協力関連団体との連携で実施されています。地域の市民が、国際協力に参加、相互理解を深める重要な機会にもなっています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	研修期間
1	ラオス青年 地方行政・地域開発(地方行政)	青年	9	ラオス	とかち機構	24.11.13-24.12.4

● 長期研修

開発途上国の発展には高度な専門知識を持った人材の育成が各分野で必要とされています。特に産業を発展させる工学、地球規模の課題である環境管理等の高度人材の育成は、社会、経済、環境のバランスを取りつつ発展する持続可能な開発目標の達成には不可欠です。長期研修は開発途上国の高度人材が本邦の大学での学位取得を支援することで、対象国の人材育成を行うプログラムです。また、プログラムを通じ、日本の大学、産業界と途上国の高度人材との連携を促進します。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	受入期間
1	(連携方式)道路アセットマネジメント技術の中核人材育成(2024～2026年度)・2025春・北見工業大学工学研究科・博士	大学連携方式	1	エチオピア	北見工業大学	25.4.1-28.3.31
2	(連携方式)道路アセットマネジメント技術の中核人材育成(2024～2026年度)・2025春・北見工業大学工学研究科・修士	大学連携方式	3	ガーナ、モンゴル、フィリピン	北見工業大学	25.4.1-27.3.31
3	(連携方式)SDGsグローバルリーダー(2024-2026年度)(アフリカ)・2024年度・北見工業大学大学院工学研究科・修士	大学連携方式	1	スーダン	北見工業大学	24.10.1-26.9.30
4	(連携方式)道路アセットマネジメント技術の中核人材育成(2021～2023年度)・2023年度・北見工業大学工学研究科・博士	大学連携方式	1	インドネシア	北見工業大学	24.4.1-27.3.31
5	(連携方式)道路アセットマネジメント技術の中核人材育成(2021～2023年度)・2023年度・北見工業大学工学研究科・修士	大学連携方式	1	モンゴル	北見工業大学	24.4.1-26.3.31
6	(連携方式)ABEイニシアティブ(2021～2023年度)・2023年度・第10バッチ・北見工業大学工学研究科・修士	大学連携方式	1	コートジボワール	北見工業大学	23.10.1-26.9.30
7	(連携方式)道路アセットマネジメント技術の中核人材育成(2021～2023年度)・2022年度・北見工業大学工学研究科・修士	大学連携方式	1	ネパール	北見工業大学	23.4.1-25.9.30
		大学連携方式	2	エチオピア、ケニア	北見工業大学	23.4.1-25.3.31
8	(連携方式)道路アセットマネジメント技術の中核人材育成(2021～2023年度)・2021年度・北見工業大学工学研究科・博士	大学連携方式	1	エチオピア	北見工業大学	22.4.1-25.3.31
9	(連携方式)ABEイニシアティブ(2021～2023年度)・2022年度・第9バッチ・帯広畜産大学畜産学研究科・修士	大学連携方式	3	ケニア、モザンビーク、ルワンダ	帯広畜産大学	22.10.5-25.9.30

10	(連携方式) ABEイニシアティブ (2021～2023年度)・2023年度・第 10バッチ・帯広畜産大学畜産学研 究科・修士	大学連携方式	2	ガーナ、ナイジェリア	帯広畜産大学	23.9.19-26.9.30
11	(連携方式) SDGsグローバルリー ダー(2021～2023年度)(アフリ カ)・2022年度・帯広畜産大学畜産 学研究科・博士	大学連携方式	2	ケニア、マラウイ	帯広畜産大学	22.10.5-26.3.31
12	(連携方式) SDGsグローバルリー ダー(2021～2023年度)(アフリ カ)・2023年度・帯広畜産大学畜産 学研究科・修士	大学連携方式	1	南スーダン	帯広畜産大学	23.9.26-25.9.30
13	(連携方式) SDGs グローバルリー ダー(2024-2026年度)(中南米)・ 2024年度・帯広畜産大学畜産学研 究科・修士	大学連携方式	1	ボリビア	帯広畜産大学	24.9.22-27.3.31
14	(連携方式) SDGsグローバルリー ダー(2024-2026年度)(アフリカ)・ 2024年度・帯広畜産大学畜産学研 究科・修士	大学連携方式	2	マダガスカル、南スーダン	帯広畜産大学	24.9.22-27.3.31
15	(連携方式) SDGsグローバルリー ダー(2024-2026年度)(アフリカ)・ 2024年度・帯広畜産大学畜産学研 究科・博士	大学連携方式	2	ケニア、ギニア	帯広畜産大学	24.9.22-29.3.31
16	(連携方式) 食料安全保障のための 農学ネットワーク(Agri-Net) 2020・帯広畜産大学畜産学研究 科・博士	大学連携方式	1	パラグアイ	帯広畜産大学	20.12.2-24.10.13
17	(連携方式) 食糧安全保障のための 農学ネットワーク(Agri-Net)(2021～ 2023年度)・2021年度・帯広畜産大 学(博士課程)	大学連携方式	1	ミャンマー	帯広畜産大学	21.11.26-24.10.6
18	(連携方式) 食糧安全保障のための 農学ネットワーク(Agri-Net)(2021～ 2023年度)・2022年度・帯広畜産大 学(博士課程)	大学連携方式	2	キューバ、ルワンダ	帯広畜産大学	22.10.1-2026.3.31
		大学連携方式	2	ラオス、パラグアイ	帯広畜産大学	22.10.1-25.3.31
19	(連携方式) 食料安全保障のための 農学ネットワーク(Agri-Net)(2021- 2023年度)・2023年度・帯広畜産大 学畜産学研究科・修士	大学連携方式	1	ナミビア	帯広畜産大学	23.10.1-26.3.31
		大学連携方式	2	インドネシア、東ティモール	帯広畜産大学	23.10.1-27.3.31
		大学連携方式	1	ザンビア	帯広畜産大学	23.10.1-28.3.31
20	(連携方式) 食料安全保障のための 農学ネットワーク(Agri-Net)(2024- 2026年度)・2024年度・帯広畜産大 学 畜産学研究科・博士・3年	大学連携方式	1	コンゴ民主共和国	帯広畜産大学	24.9.21-28.9.30
21	(連携方式) 食料安全保障のための 農学ネットワーク(Agri-Net)(2024- 2026年度)・2024年度・帯広畜産大 学 畜産学研究科・博士・4年	大学連携方式	1	マラウイ	帯広畜産大学	24.9.26-28.3.31